What's up, OITA!

（どげぇかえ、ふるさと大分！）

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol.31》 2015年9月1日発行

【ご挨拶】大分県企画振興部 国際政策課 課長 堀 俊郎
hori-syunro@pref.oita.lg.jp

8月25日の台風15号、九州通過の際は、JRと県内バス全線が始発から昼前まで運休する状況でしたが、それ以降は、猛暑も落ち着き、雨の降る日が多くなっているこの頃です。8月末の北京・世界陸上、その出場者でポルトガルの三段跳び選手が、事前キャンプで2週間ほど大分に滞在し、男子エボラ氏が見事に銅メダル獲得。このようなキャンプ誘致などにも取り組んでいます。

バックナンバーはこちら http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html

大分県の海外関連施策について

高校教育課
課 長
岩武茂代
(Shigeyo IWATAKE)

【連絡先(Mail)】
iwatake-shigeyo@pref.oita.lg.jp

高校教育課の岩武と申します。

当課では今年度、グローバル人材育成推進班を設置するとともに、昨年度策定した「大分県グローバル人材育成推進プラン」に基づく様々な取組を進めています。

本年度の新たな取り組みとして、5月に「大分県中学校・高校留学フェア」を開催しました。100名以上の参加者に対し、留学に関心を持つ中学生や高校生、保護者等へ具体的な情報提供をすることができました。今後、県内生徒の留学者が増えることを期待しています。

また、小学生及び中学生対象のイングリッシュ・キャンプも新たに実施しました。県内のALTとの活動を通して、子どもたちは英語を用いて積極的に活動していました。

従来から行っている留学支援の充実や、英語教育の改善など、この他にも様々な取組を行っていきます。大分県の子どもたちが、今後世界で活躍できるよう、皆様には今後ともご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

留学フェア「留学体験報告」

イングリッシュ・キャンプ
「英語で歌おう」

トビタテ！留学JAPAN「地域人材コース」事前オリエンテーションを開催

官民協働海外留学支援事業「トビタテ！留学JAPAN」の一環として、今年度から、新たに、大分県地域グローバル人材育成・定着協議会により、海外留学と県内企業へのインターンシップを通じて、グローバルに活躍できる人材の育成を行っています。

8月17日に県庁で開かれた事前オリエンテーションにおいて、大分県代表の第1期生に選ばれた大学生8名が、知事を表敬訪問し、各自の留学計画を報告し、知事から激励を受けました。

8名は8月下旬から順次、アメリカやイタリアへ1～4ヶ月間留学し、林業や半導体、観光について学びます。

海外大分県人会交流掲示板

7月から8月にかけて、海外大分県人会の皆様からたくさんご報告をいただきました。皆様、ありがとうございました！

ロサンゼルス：在米50数年の浦山さんが大分へ

7月19日、在米50数年を過ごされ、9月に中津に戻られる浦山じゅんさんの送別会を兼ねて、ガーディナ市の『秀ちゃん』にて、ロサンゼルス大分県人会を開きました。昼間から和気あいあいと皆で楽しく飲んで笑って、3時間があっという間に過ぎ去りました。

ロサンゼルス大分県人会
会長　會田　裕二さんより

ブラジル：フェスティバル・ド・ジャポンで大分をPR！

第18回フェスティバル・ド・ジャポンが7月24日～26日の3日間、ブラジル、サンパウロで開催されました。このイベントは、日本の伝統文化を紹介する世界最大のものといわれ、毎年約20万人が来場しています。
私たち大分県人会のブースでは、だんご汁や鶏めしなど、大分の郷土料理を販売しました。県人会のベテランメンバーと一緒に若手メンバーも、「めじろん」の描かれたそろいのハッピで、大分のPRに汗を流しました。

ブラジル大分県人会・めじろん海外特派員
中原田みきえさん　荘司幸枝さん より

おそろいのハッピで会場をもりあげる

オンタリオ：年に一度の「どげえかえ？」

会代表の英子さんとJohnさん

2015年7月25日午後1時、大分県出身の方々が我が家に集合しました。7家族（大人12名、子ども5名）、そして、ワーキングホリデイでトロントにやってきた2名の合計19名です。其々に自慢の料理やデザートを持ち寄り（ポットラック形式）、それらに舌鼓を打ちながら、故郷おおいたの話題に花が咲きました。子どもたちはプールで歓声をあげ、大人は緑あふれる庭で異国生活のあれこれ、仕事や健康のこと等、時間を忘れて語り合いました。
夕方にはBBQを開始し、オンタリオならではの美味しいサーモン、ソーセージ、コーン、ポテトを味わいました。その後、子どもたちはまた水泳へ！元気いっぱいの彼らはどげえ会の希望です。暗くなって、ホタルを探しに林へ。また、焚火を囲み、マシュマロをいかに上手に焼けるかを競い合いました。笑顔に満ちた楽しいひと時を過ごし、夜の9時半に解散しました。
世界各地の大分県人会の皆さま、トロントへ来られる際には是非に本会に連絡してください（mernagh@rogers.com）。一緒に語り合いましょう！

オンタリオ大分どげえ会
代表　マーナ豊澤英子さんより

韓国：　大分県人会親睦会を開催

8月25日、ソウルへの出張に合わせて、韓国大分県人会の親睦会に参加させていただきました。今回は少人数の参加ということでしたが、おいしい韓国料理と個性豊かな皆様とで楽しい会話が弾みました。韓国での生活、趣味の話に加え、出身校や大分駅周辺の変わりようなど、大分ならではの話題も飛び出し、話は尽きることがありません。韓国大分県人会では、これからも定期的に親睦会を開催していくとのことです。
皆様、楽しい時間をありがとうございました。　　　国際政策課　平山

Pick Up! 大分の「今」

県内の出来事（8月）

【8月27日（木）】 県立美術館「進撃の巨人展」が大盛況！

大分県立美術館で開催中の「進撃の巨人展」の入館者が5万人を突破しました。国内外で人気のコミック「進撃の巨人」の作家・諫山氏は、大分県日田市の出身です。今回の「巨人展」開催にあわせ、まちのいたるところで漫画のキャラクターに出会うことができるフォトスポットを展開しており、まち全体で"進撃の大分"を味わうことができます。大分県立美術館での展示は8月30日まで。その後、大阪、台湾にて展示を予定しています。

【8月13日（木）】 「昭和の町」がクールジャパン賞を受賞！

豊後高田市の昭和の町が「クールジャパンアワード2015」に選出されました。同賞は、国際的な視点で「日本のかっこいいもの」を評価する賞で、第1回選出のとなる今回は、一般社団法人クールジャパン協議会が独自に選出した119の候補の中から、国内外の外国人審査員20人が審査を行い、計18の製品や施設、カルチャーなどを選出しました。昭和の町は「昔ながらの町並みを大切にするという発想の転換により、地域活性化のモデルになった」と評価されました。

【8月4日（火）】 オンライン辞書のウェブリオが別府に支社開設

インターネット上で辞書サービスを展開するウェブリオ（本社：東京都）が別府市に大分支社を開設しました。別府市に多く在籍する留学生らを生かして、日本語とさまざまな言語の翻訳をするオンライン辞書を充実させる作業をします。大分支社では、留学生アルバイトを中心に、年内には40人まで人員を増やす計画です。現在は、外国語辞書の例文を増やす作業を手がけており、今後、利用者の問合せに対応する部署も設ける予定です。

【8月4日（火）】 横綱・白鵬関の別荘は日田杉のログハウス

大相撲の横綱白鵬関が、出身地のモンゴル・ウランバートル郊外で大分県の日田杉を活用した別荘の建設を進めています。見た目の美しさや強度に優れた日田杉の材質を白鵬関が気に入ったということ。受注した会社では、県内で原木を加工し、モンゴルに搬送、現地に職人を派遣し、組立までを行うそうです。国土の5分の4を草原が占めるモンゴルでは木材の供給が難しく、そんな中、富裕層を中心に木造住宅へのニーズが高まっています。

※国際政策課にて新聞等を元に作成

中国湖北省研修員による「私の大分☆見聞録」

中国湖北省から来県中の研修生が、大分県で体験した事柄をご紹介します。

今月から私は別府の市役所で短期研修を受けることができ、大変嬉しく思います。8月4日の火曜日、文化国際課の職員たちと一緒に、別府鶴見岳に観光に行きました。標高500mにある別府高原駅からロープウエイに乗車し、約10分間程度で頂上に到着しました。山頂から別府の全景を見下ろせます。とても感動しました。当日はとても暑かったですが、山の頂上は意外と涼しかったです。新鮮な空気を吸いながら、静かな森の道を歩き、まるで桃源郷にいるようでした。

毎年の冬の時期、山頂で「鶴見岳大寒がまん大会」が開催されるそうです。参加者の皆さんは氷のイスに座ってかき氷の早食い競争します。とても面白そうです。是非見てみたいです。

氏名：陳瑾（チン キン）
所属：孝感市孝南区
外事僑務観光局

米国から新たに加わる県の国際交流員が来県しました。

大分県の国際交流員に米国出身のシェリダン・ミキシックさんが加わりました！

はじめまして。アメリカから参りましたシェリダン・ミキシックと申します。出身はアーカンソー州ですが生まれた州はテキサスで子供のときにオクラホマ州に住んだので、アメリカの南部に関する質問があれば、どうぞ聞いてください。大学の一年生の頃から日本語を勉強して二年前に東京で留学する機会がありました。

今回、国際交流員として大分県に来ましたが、初めて大分県に来たのは「日米草の根交流サミット・おおいた大会」でした。サミットでは、別府と日田を訪れて、別府の温泉に入って日田の山を見て大分県の自然美を経験できました。今度は、観光客としてではなく、大分のコミュニティの一員として、「おんせん県」を経験したいです。

リンカーン記念堂にて

From our Reporters

県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。

ミリアム・スターリング
(Miriam Starling)
県国際交流員
英国
pu101503@pref.oita.jp

8月は、二つのイベントに参加しました。まず、OPAMの『進撃の巨人展』を見に行きました。初日の8月1日に行ったので、開会式も見ることができました。漫画『進撃の巨人』のファンだし、大分県出身の漫画家が描いた作品なので、ファンとしてわくわくしていただけではなく、「大分県に住んでいる人」として誇りを感じたと言えるかもしれないです。展示会も素晴らしくて、もう一度行こうかなと少し悩んでいます‼ 第2のイベントは大分市の府内戦紙でした。日本人と外国人の合同チーム・メンバーとして、友達と府内戦紙で踊りました。大分に来て以来、一番楽しい夜だったと思います。私の国では、日本風の祭りに参加する機会がなく、私にとって忘れられない、貴重な経験でした。しかし、非常に暑かったので、汗まみれになってしまいました‼

李　暁雪
(Li Xiaoxue)
県国際交流員
中国
pu101501@pref.oita.lg.jp

8月に入って、大分市が猛暑になりました。でも、中心部の商店街の店先には色鮮やかな七夕の飾りつけがされ、7日から9日までの3日間で様々なイベントが開催されました。

初日の夜に行われたメインイベントは「府内戦紙」です。それは、山車20基と踊り隊の練り歩きで、武者や昇り竜をモチーフとした山車を、大分市の中央通りをルートとして男性陣が担ぐため圧巻でした。また、和紙に描かれた武士を内部から光で照らした「戦紙」、そして大分の古い呼び名を「府内」と言い、大分夜道を照らしました。多くの人々は、山車や踊りを通して表現されてきた日本の伝統美にすっかり魅了されました。

金　眞雅
(Kin Jina)
県国際交流員
韓国
pu101502@pref.oita.lg.jp

大分県には県庁以外にも豊後大野市役所と中津市役所に韓国人の国際交流員がいます。先日、その先輩たちと大分の女子旅をしてきました。

先輩の車に乗って、まずは竹田市にあるラムネ温泉に向かいました。かわいい名前の通りラムネ温泉は炭酸泉です。温泉の温度も高くないため、暑い夏にぴったりの温泉でした。実際に温泉に浸かってみると泡がシュワシュワと体について、とても気持ちよかったです。ダイエットの効果もあると書かれていましたが、たった一度だけでは痩せない気がしました。

次に向かったのは東洋のナイアガラと称えられる原尻の滝です。滝の向かいに吊り橋がありますが、渡ると結構揺れて少し怖かったです。しかし、そこから眺める景色が抜群で、見応えがありました。

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～
【佐伯市／臼杵市】

（佐伯市）
「深島のサンゴ」
テーブルサンゴが群生
サンゴ生息の北限といわれる

（佐伯市）
「冨尾神社の神踊・杖踊」
400年来の歴史を有する
県の無形文化財

（臼杵市）
「稲葉家下屋敷」
廃藩置県に伴い東京へ移住した
旧臼杵藩主・稲葉家の臼杵滞在所

（臼杵市）
「黄飯」
クチナシで色を
付けた黄色い飯

話題提供のお願い！

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！（様式は任意です）

【記事提供先／お問い合わせ先】
国際政策課　担当：平山（ひらやま）
【Mail】 a10140@pref.oita.lg.jp